

氏 名 : Mohammad MOSTAFANEZHAD  
学位の種類 : 博士 (芸術工学)  
学位記番号 : 課博第 21DT002 号  
学位授与年月日 : 令和 6 年 3 月 20 日  
学位授与種類 : 学位規程第 4 条 第 1 項該当 (課程博士)  
学位論文題目 : Educating Teenagers on Epics through Poetry Comics  
Impact on Scores in Poetry Classroom and Attitudes toward Poetry and  
the Shahnameh  
専 門 委 員 : 黄國賓教授、相良二郎教授、谷口文保准教授、菅野博之教授、  
齊木崇人 (神戸芸術工科大学 名誉教授)  
都留泰作 (京都精華大学 教授)

#### 審査結果の要旨

シャハナーメ (Shahnameh) は、ペルシャ語で書かれた叙事詩である。イラン文学の最も重要な作品の一つであり、10 世紀にペルシャの詩人であるフェルドウシー (Ferdowsi) によって書かれた。この叙事詩は、イランの歴史と伝説、民族を詳細に語り、ペルシャの王たちや英雄、神話的な存在、戦争、愛、そして人間の行為に関する多くの物語が含まれている。その全文は長大で、多くの巻に分かれているが、ペルシャ文学における最も重要な文学的遺産の一つと見なされ、特にイラン人に愛されている。

しかし、シャハナーメは古代ペルシャ語で書かれているため、言語の難しさや読書率の低さ、時代遅れの表現方法、適切な文化政策や教育政策の不足などの問題に直面している。これらの課題に加えて、質の高い翻案が不足していることも挙げられる。近年、イランの文化遺産や言語の専門家たちの間で、シャハナーメなどの古典的な叙事詩を読むことへの関心が急激に低下していることに深刻な懸念が高まっている。新世代にシャハナーメ叙事詩を効果的に伝えるための試みとして、これまでにイラン社会では様々なイラスト付きの翻案が行われてきた。しかし、10 代の若者たちは伝統的な芸術スタイルや時代遅れの視覚言語、遠い文化的文脈、そして難解な言語に馴染みがないため、現代の読者にとってはあまり効果的ではなかった。

本研究では、シャハナーメとイランの 10 代の若者との間のギャップを埋めるための新しいアプローチとして、詩とコミックスを組み合わせた「詩コミックス」が考案された。「詩コミックス」の導入による効果を検証することで、イランの 10 代の若者における詩の授業の成績アップや関心度、そしてシャハナーメに対する興味への影響が明らかにされた。

本論文は 6 章から成る。

第 1 章では、本研究の背景や動機、研究の意義や独自性、イラン社会における古典文学の重要性や社会的な意義、そして若い読者がシャハナーメのような叙事詩に関わる際に直面する課題について論じられた。特に、イランの 10 代の若者がシャハナーメに対する関心を喚起するため

に、革新的な「詩コミックス」の導入の必要性が強調され、本論文の具体的な課題が明らかにされた。

第2章では、なぜ現代のイランの若者がシャハナーメを読むべきかに関する仮説に基づき、世界中の文学と古典の価値との関連性について論じながら、詩が言語スキル、批判的思考、記憶、創造力を向上させることができ、読者との共感の繋がりを引き出せると主張された。本章ではまた、若いイランのアーティストとクリエイターに対する古典文学の関心度を再考し、革新的なアダプテーションを通じて、文学遺産と新世代との関連性が強調され、若者に古典文学に対する関心を高める方法が提示された。

第3章では、シャハナーメの文書とイラストが翻案された版において、言語の難しさや長文なテキスト、視覚要素の不足、現実離れたイラスト表現などの問題が取り上げられ、シャハナーメがイランの若者にとって親しみにくい原因が示唆された。これらの問題に対処するため、マンガや西洋のコミックス、ペルシャの絵画要素を組み合わせた革新的なオリジナルのシャハナーメ翻案版が作成されるプロセスが開発され、それが「詩コミックス」と呼ばれ、これまでの問題に対処できる可能性について議論された。

翻案版のシャハナーメの「詩コミックス」の学習効果を検証するため、第4章では、二つの実験が行われた。実験1では、「詩コミックス」が使用された詩の授業において、学生の成績や一般的な詩への関心度が大幅に改善されたことが明らかにされた。実験2では、「詩コミックス」化されたシャハナーメが読者の関心度を大幅に向上させる効果が証明された。これらの実験を通じて、「詩コミックス」を用いたシャハナーメが学生の理解を大幅に向上させることが確認され、教育現場における「詩コミックス」の有効性が明らかにされた。

第5章では、インタビューや教師のアンケートを通じて、イランの教育環境においてコミックスが有効な教育ツールとして認識され、教育者の意見が成功裏に改善されたことが確認された。また、「詩コミックス」が元のシャハナーメから詩を取り入れることで、教育者の間で翻案の価値が増加する効果も示された。

第6章では、これまでの研究成果を総括し、各章の成果やその意義、そしてこれらの成果が社会にどのように貢献できるかについてまとめた。特に、本研究は「詩コミックス」がシャハナーメに対する関心度に与える影響を効果的に取り上げ、さまざまな分野に影響を与えることが示された。文学研究の観点から、「詩コミックス」は古典文学を現代の読者に適応させる新しいアプローチを提供し、つながりを強化することが示された。また、教育者にとって、「詩コミックス」は複雑なテキストに対する効果的な教育ツールであり、学生が困難を乗り越え、古典文学に対する肯定的な見方を持つのを助けることが示された。

本論文では、イランの叙事詩を「詩コミックス」に取り入れる試みが、イランの10代の教育において効果的なツールであり、新世代とイランの過去との間の隔たりを埋めるために彼らの興味を再活性化する有効な手段であると結論された。

本論文の研究成果について、各副査の先生方の評価は以下の通りである。

#### 1) 相良

シャハナーメは現在のイラン社会を統べているイスラム教以前の作品であるが、現在のイランにおける社会的規範に従い、教育現場に適用できるように配慮されており、二つの実験に際しても事前協議を行うなどきめ細かな配慮がなされている。

#### 2) 谷口

本研究は、古典文学作品を現代のメディアで表現し、その成果を用いて社会的課題の改善に取り組む内容であった。これは、芸術工学の特性を活かした研究方法であり、今後さまざまな応用展開につながることを期待される。

#### 3) 齊木

- ①ペルシャ文化の基底にある文化遺産「叙事詩シャハナーメ」を再評価し、研究材料とした。
- ②叙事詩を伝える「テキスト」と「図像」がマンガ的な表現手法で共存する「詩コミックス」を創作した。
- ③シャハナーメを通して文化を学ぶ10代の興味度や学習成果に役立つことを実験・検証した。
- ④新世代の教育において、独自の文化遺産を伝える独自の表現方法を開発し、その成果を実験的に検証し、芸術工学が目指す研究成果の普遍的な活用を提示した。

#### 4) 都留

伝統的な詩という芸術形式をマンガの形に適応させるという意味で、オリジナリティの高い研究になっている。実技研究と実証研究の視点を兼ね備えながら、新たなマンガの表現形式を切り開くと共に、その効果を確かめる視点を確立するものであり、これからの通文化的なマンガ実証研究の手始めというべき研究になった。マンガ研究では報告がほとんどなかったイラン文化において、マンガ表現の教育手法としての実効性を実証した研究としても評価できる。

#### 5) 菅野

「詩コミック」は、日本のマンガ演出構造の重要要素である「情報の重層化」を活用した意欲的な作品である。表面的な絵柄やコマ割りという構造を使わず、物語・詩・絵柄の三要素について伝えるべき情報、不要な情報を整理して制作したアプローチは多くの文化圏でマンガ形式を使った独自の表現を模索する際の参考になる事が期待される。

本研究で構築された「詩コミックス」によるイラン若者の教育効果の実証的な試みは、イラン古典文学に対する再評価に貢献するだけでなく、世界各国の固有文化に現れている古典文学やコミックスの表現に新たな独創的な表現領域を開拓するものであり、芸術工学分野においてふさわしい研究であると言える。

以上の博士論文の内容について、黄國賓を主査とし、副査を相良二郎教授、谷口文保准教授、

菅野博之教授（サブ・アドバイザー）、外部副査としての齊木崇人名誉教授、日本の文化人類学者及び漫画の専門家としての京都精華大学マンガ学部都留泰作教授の 6 名で構成し、2024 年 2 月 17 日（土）、に開催された公聴会及び本審査委員出席のもとに最終試験を行い、論文の内容と関連事項に関する説明を求め、質疑応答を行った。その結果、本審査委員により合格と判定された。

よって MOHAMMAD MOSTAFANEZHAD 氏は博士（芸術工学）の学位を受けるに十分な資格を有する者と認められた。